

の言葉を励みに挑戦していきたいと思っています。

伊與田 「坤為地」というと僕には一つの思い出があります。「坤為地」のおかげで思いがけない恩恵を受けたことがありますね。

竹村 思いがけない恩恵ですか。

伊與田 僕が戦後、太平洋思想研究所を立ち上げた時、それだけでは生活できなかつたので印刷所の職工になつたんです。漢字や何かはたくさん知っておるけれども、仕事となると違う。一人前になるまでには何年も修業せねばなりません。最初はたいした仕事もできずに給料も安かつたんですが、数か月たつた頃、社長がPTAの会長をしていた関係でたまたまある中学校に行く機会がありました。

講堂にまいましたら多くの方々が何やらワイワイ言つてる。講堂の正面に掛かっている額が読めないというんです。それは犬養木堂翁（元総理）揮毫の「含章縉」でした。「坤為地」にある「含章可貞」（章を含みて貞にすべし）の含章に縉蓄を添えたものでした。謙虚にして自己の抑制に努め、才能の美を含み隠さないという言葉でした。それなのに僕は場所柄もわきまえず、その出典と意味を諍々と話したら皆傾

聴してくれましたね（笑）。

会社に戻ると、社長が僕を呼んで「あなたの会社では職工でもああいう教養人がいるのですかと言われてきようは自分も鼻が高かつた。明日からは工場に行くのをやめて事務所に来なさい」と。僕は職を覚えようと思つて入社したけれども、しよがないから翌日事務所に行くこと、あるのは椅子だけだ。その社長というのは大変な読書家で「これは自分本を説くということだろう」と解釈して、それから毎日書庫に入って本を読みました。印刷のこともいろいろ勉強して、半年で印刷所の物知りになつた。挙げ句に社長からも「先生」と呼ばれて大事にされるようになりました（笑）。

竹村 先生のお若い頃の姿が目につかようですね。

上立つ者ほど謙虚さを失つてはならない

伊與田 話は横道に逸れましたが、リーダーの心得ということになりますと、特に政治家にとつては「地天泰」にある教えも忘れてはなりませんね。

竹村 そうですね。

伊與田 普通は天（陽）が上で地（陰）が下です。ところがここでは地が上で天が下とひっくり返り、それが泰

平の姿だとされている。陽は上に上ろうとする、陰は下に下ろうとする性質を持っているわけですが、これをひっくり返すことで、二つがよく結ばれるわけです。

政治の話でいえば、為政者は陽、民衆は陰です。会社でいえば経営者が陽で社員は陰。経営者が社員を大事にして下に下ろうという時、初めて泰平となるわけです。逆に社長が偉ぶつていたらどうなりますか。

竹村 お互いの気持ちは塞がったまま通じません。

伊與田 これを「天地否」と言いますね。これは家庭でもそうだと思います。やはりご主人が下で、ワイフを大切にするほうがよろしい。僕もあまり偉そうなこととは言えんけれども……（笑）。とはいってもいまの世の中のように女性的男性、男性的女性になれというのでもない。

竹村 立場的に強い人が弱い人を大切にしているのが理想なのでしょうね。商売をしている方がよくおっしゃるには、女将さんがしっかりしている店は商いがうまくいくと。ご主人があまり出しゃばらず奥さんを上手に働かせていくことが繁盛の秘訣だというんです。「地天泰」とはそういうものかもしれませんね。

せんね。

伊與田 水と火の関係も同じです。湯を沸かす時には火は下になくちやいかん。上からいくら火を焚きつけても対流はなかなか起きません。そしてこの「地天泰」の姿を理想としたのが韓国です。韓国の国旗（太極旗）はそれを表していて、陰陽一体を示す太極図を中心にして四隅に☰天☷地☲火☵水の卦が配されています。

竹村 「易経」は非常にシニカルな面がありまして「地天泰」には、「平かなるものにして、跛かざるはなし」という言葉があるんです。要するに「存して亡ぶるを忘れず」ということでしようけれども、「安泰が続いてうまくいっているようでも、物事は絶えず変わっている」という警告なわけです。

伊與田 それもまた政治の要訣かもしれないですね。戦後の日本を見ると一見平和なようでも、いま申し上げたように女性が男性化し、男性が女性化している。これは大変危険な兆しだと思います。

元亨利貞に秘められた将の条件

竹村 「易経」についていろいろと話を進めてきましたが、その答えは「乾